

2023年1月8日

「Manchester 2023 World Para Swimming Championships」

日本代表選手選考方針と基準について

(一社) 日本知的障害者水泳連盟

I 選考方針

標記大会への日本代表選手の選考にあたっては、標記大会への参加基準を満たすものであり、個人種目においてメダル獲得または入賞の可能性のある選手を選考する。

なお、選考（方法）については、2023 国際大会日本代表選手選考委員会（以下「選考委員会」という）を設け、これが2023年3月5日（開催予定）に選考した後、日本知的障害者水泳連盟の常務理事会等の承認を経て決定する。

II 選考基準

1. 個人種目においてはメダル獲得または入賞の可能性のある選手を選考する。

2. 選考と基準

(ア)個人種目選考

- ① 2023年3月5日に開催予定の選考委員会において、2023年3月4日から5日にかけて開催予定の「2023 パラ水泳春季チャレンジレース兼マンチェスター2023WPS 世界選手権日本代表選手選考競技会（以下「選考会」という）」の記録により、派遣基準記録を突破した選手を選考する。
- ② 指定感染症の罹患やそれに伴う隔離期間等により2023年2月1日以降に連続して10日以上トレーニングができなかった場合、また特定非常災害等の理由で、「選考戦」に出場できなかった場合は、所属からの申請（別途一申請書類様式は提示する）により2022年9月1日以降に樹立した記録を「選考会」の記録として評価する。

(イ)派遣基準記録

- ① 「選考会」において、別に定める派遣基準記録を採用する。派遣基準記録は次の*のとおりを設定する。

*パリ2024実施種目のみ基準記録を設定

*2022WPS 世界ランキング 12 位の記録を採用

*2022WPS 世界ランキング 12 位がマンチェスター2023 世界選手権の MQS（以下、「マンチェスター2023MQS」という）より遅い場合は、マンチェスター2023MQS を採用

- ② ①の基準を突破した選手が同一種目に 4 名以上いる場合には、上位 3 名を選考する。
- ③ ②において、同タイムの選手が複数存在するために上位 3 名を決定する事が出来ないときは、「選考順位決定レース」により決定する。実施方法はその都度決定する。
- ④ 上記の II.2.(イ).①~③に該当する選手のステイタスが「N」の場合は「保留扱い」とし、2023 年 5 月 28 日までに国際クラス分けを受検し、参加要件を満たした場合は代表が決定する。また、ステイタスが「R」、「R2023 以前」の場合で、マンチェスター2023WPS 世界選手権までの国際クラス分け受検により参加要件を満たせなかった場合は、その時点で代表を取り消す。

(ウ)リレー代表、補欠の選考は実施しない

3. 指定感染症、特定非常災害等の影響により「選考会」が中止となった場合
2022 年 9 月 1 日から 2023 年 3 月 3 日までに実施された WPS 公認大会の記録を選考の対象記録とする。

III 選考に前後して必要な準備と日程

代表選手が決定される前後に、対象となる選手は準備として WPS、連盟に対して様々な手続きが必要である。概ねその時期や、提出書類及びその対象選手は下記に示す通りである。手続きに必要な書類を理由なく期限までに提出しない選手は、選考を辞退したものととして取扱う。

(ア)2022 年 12 月

- ① 2023 年の国際ライセンス登録

(イ)2023 年 1 月

- ① 選考会へのエントリーの提出

(ウ)2023 年 3 月

3 月 5 日の決定以降、速やかに世界選手権の派遣手続きに入る

(エ)2023 年 5 月

エントリー締切 6 月 1 日 (World Para Swimming)

(オ)2023年5月

アクレ申請期限 6月23日 (World Para Swimming)

IV その他

(ア)マンチェスター2023WPS世界選手権において、パリ2024実施種目に出場し優勝(個人種目に限る)した選手は、パリ2024パラリンピック水泳日本代表推薦内定選手とする。推薦内定した選手は、(仮称)パリ2024代表選考会(時期未定)に推薦内定した種目に出場する事により日本代表推薦選手となる。

(イ)この方針に定めのない事項については、選考委員会が審議し決定する。

以上

別添資料) マンチェスター2023 パラ水泳世界選手権出場基準

【出場資格要件】

- 本選手権への出場資格を取得するため、全ての選手は WPS 規則・規定第 4.2 項に定めた資格要件を全て満たさなければならない。尚、資格取得の経路については問わない。
- NPC による本選手権出場選手選出に際し、WPS 規則・規定 第 4.4 項 に従い、選手は上記の出場資格に加え以下の資格要件を満たしていなければならない。
 1. 2023 年に有効な WPS アスリートライセンスを保持していること。
 2. 国際クラスを保持しており、そのステータスが C もしくは R2024*であること。
 3. 2022 年 1 月 1 日～2023 年 5 月 28 日の間に WPS 公認大会（長水路）にてそれぞれの種目で MQS を達成**していること。
 4. 2022 年または 2023 年シーズンに有効な WPS アスリートライセンスおよびライセンス規則に従った MQS を達成**していること。

*上記 2 につき、NPC が以下のステータスである選手を暫定的に選出することを認める。

(i) R、(ii) R2023 若しくは 2023 年以前の FRD、(iii)N、但し、その他の出場資格要件を満たしており、本選手権にてクラス分け受検することを条件とする。

**上記 3.及び 4.については、ワイルドカードエントリー（詳細は下記 6.を参照）及び直接招待（下記 7.を参照）により例外として出場が認められる場合がある。

MQS は 2021 年 1 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日までの公式世界ランキングリストの 15 位から 17 位の、一方 MET は 19 位から 22 位の平均タイムを基準に設定した。尚、上記の基準を満たすのに十分な選手数がランキングリストにいない場合、ランキング上の最下位 2 名の平均タイムを MQS 及び MET として採用した。例外として、S 1 及び S 2 種目の MQS は参加選手数を増やすために別基準で設定をした。詳細については、MQS・MET 表を参照のこと。

リレー種目は MQS を設定していないので、エントリータイムなしで出場できる。MQS 取得有効期間中の記録がある NPC はそのタイムにてエントリーとなる。